

～令和4年度開催 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会に向けて～

# 「とうきょう総文2022」通信 第3号

令和元年8月28日（水）に開催された第5回開催準備委員会において、令和4年度開催予定の第46回全国高等学校総合文化祭東京大会の「大会愛称・ロゴ、シンボルマーク、マスコットキャラクター及び大会テーマ毛筆表現」等を決定しましたので御紹介いたします。

## ○大会愛称・ロゴ



（読み方：とうきょうそうぶん にせんにじゅうに）

大会愛称・ロゴは、大会テーマにある「江戸」のイメージを江戸紫で表し、「東京」を平仮名にすることで、柔らかさやしなやかさを表現しています。

また、総文の文字の上には、東京都の花である「そめいよしの」をモチーフとして花びらをあしらひ、夏の花火のようなデザインにすることで、華やかな東京をイメージしました。数字部分には爽やかな風を感じるよう、桜吹雪を入れています。

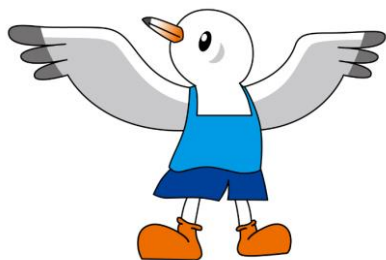
## ○大会シンボルマーク



大会基本方針にある「光」をイメージし、星印を江戸小紋のような連続紋様に見立て、「毬」の形に仕上げました。「東京」の書体も「江戸文字」を使用し、江戸期から受け継がれてきた伝統文化を表しています。

## ○大会マスコットキャラクター

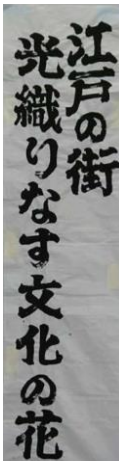
ゆりーと



「ゆりーと」は、スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会及び第13回全国障害者スポーツ大会）を応援するために誕生したキャラクターで、都民の鳥「ユリカモメ」をモチーフとしています。

大会終了後は「スポーツ推進大使」として活躍していますが、今回、とうきょう総文2022のマスコットキャラクターとしても活用します。

## ○大会テーマ毛筆表現



縦書き

東京都立井草高等学校 2年 さやま みなつ 佐山 実夏

「作品の説明（縦書き）」

江戸文字を使用し、隙間が目立たないように、ずっしりとした江戸のイメージと合うように書きました。

横書き



女子美術大学付属高等学校 2年 こいど りん 小井土 凜

「作品の説明（横書き）」

高校生のもつ力強さ、パワーを力強い隸書で表し、「光織りなす」という言葉から柔らかな印象をもったので、強さだけを意識するのではなく、曲線でなめらかにするように工夫しました。

## 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会1000日前イベントを開催します！

- 日時 令和元年11月4日（月・祝）  
午後2時30分から午後4時まで（予定）
  - 場所 江戸東京博物館（JR両国駅西口 徒歩3分）
  - 内容 ゆりーと「大会マスコットキャラクター」任命式  
先催県（高知県）との交流ステージ  
各部門展示・発表・部門コラボレーション特別企画
- ※ 詳細については、今後、通知を発出する予定です。

